

## 施設見学会

# 福山リサイクル発電施設



### 1. はじめに

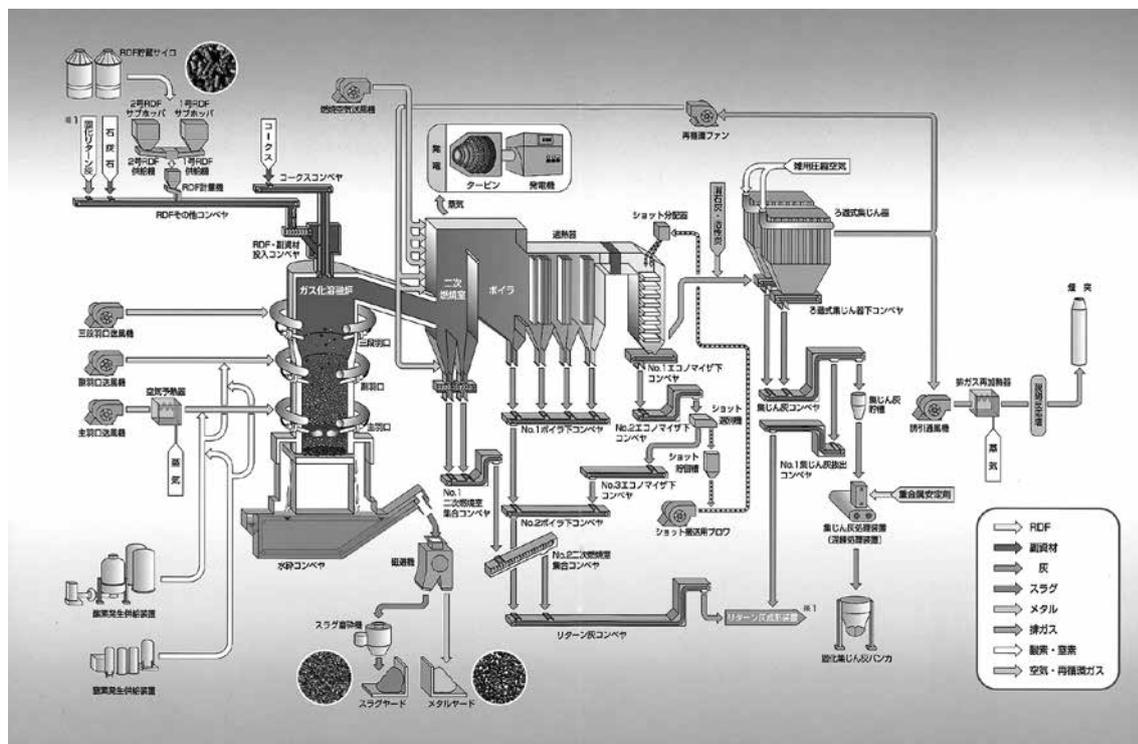
平成 26 年度の企画運営委員会の施設見学会は、JFE エンジニアリング株式会社のご協力により、平成 26 年 6 月に福山リサイクル発電施設を見学致しました。施設見学会の概況について報告します。

### 2. 視察概要

- 1) 日程 平成 26 年 6 月 12 日(木)
- 2) 参加者 14 名
- 3) 視察先 福山リサイクル発電所

### 3. 会社概要

- 1) 会社名 福山リサイクル発電(株)
- 2) 所在地 広島県福山市箕沖町 107 番 8
- 3) 設立 平成 12 年 5 月
- 4) 資本金 16 億円
- 5) 株主 広島県、(一財) 広島県環境保全公社、JFE エンジニアリング(株)、福山市・府中市他 7 市町
- 6) 事業内容 RDF の受入・貯蔵・焼却、発電・売電、溶融スラグの有効利用
- 7) 事業期間 平成 16 年 4 月～平成 31 年 3 月 (15 年間)
- 8) 売上高 2,103 百万円 (平成 26 年 3 月末決算)



RDF・空気・排ガス・灰フローシート

#### 4. 施設概要

- 1) 規模 314t (RDF)/日×1炉
- 2) 竣工 平成16年3月
- 3) 炉形式 シャフト炉式高温ガス化直接溶融炉
- 4) 発電量 約21,600kW  
(発電端効率28.1%)
- 5) RDF貯蔵設備約 約20,000kW (2基)
- 6) 用地面積 約26,000㎡

#### 5. 施設運営状況

この福山リサイクル発電所では、広島県下の9市町が運営している7つのRDF製造施設で製造されたRDFを焼却しています。

平成25年度の実績として、RDF処理量が70,359t、発電量が107,275千kWh(うち売電量は89,455千kWh)、スラグ販売量が6,744t、メタル販売量が487tとなっています。施設で受入れているRDFの約6割が福山市からの搬入だそうです。

焼却に伴って発電した電力のうち余剰電力は、競争によって売却先を決めており、その収入が事業運営の大きな柱となっています。溶融スラグに関しては、福山市の公共事業用の資材として有効利用されており、こうした有効利用により最終処分量の削減に大きく貢献しています(飛灰は埋立処理)。

施設の運営には、JFEエンジニアリング(株)グループの他にも出資者である自治体も参加しており、施設運営については官民一体となった取組をされています。

この事業はPFI法を適用しておりませんが、設立された事業会社は、金融団(日本政策投資銀行・みずほ銀行・広島銀行)による15年のプロジェクトファイナンスで資金を調達しており、実質的にはPFI法に準拠した事業となっております。

資本金が16億円とかなり大きな額となって

いるのは、借入金を少なくして少しでもチップングフィーを安くするためだそうです。

昨年度の経営状況は、売上が約2,102百万円、経常利益が約572百万円となっており、数字の点からも健全経営が確認できます。これも収入の大部分を占める安定した売電収入の存在があるからだそうです。

こうした健全経営を続けてこられた結果、15年間のプロジェクトファイナンスで調達した借入資金については、平成24年度に返済済みだそうです。

本事業の事業期間は、15年間となっておりますが、事業期間の延長を視野に入れているそうです。

#### 6. 終わりに

今回見学させていただいたシャフト炉式高温ガス化直接溶融炉は、安定した操業をされており、それが経営の安定に繋がっているようで、職員の方々は「間違いなく本事業は成功例である」と皆さん自信を持って発言されていたのが印象的でした。このように安定した操業を続けておられる背景には、多くの関係者による日頃の努力の積み重ねがあると思われます。

最後に、業務の忙しい中、施設の説明、施設見学、質疑対応に丁寧に対応していただきました佐藤所長をはじめ関係者の皆様方に紙面をお借りして心より厚くお礼を申し上げます。



会議室で説明を受ける